

総務常任委員会報告



平成22年度阿蘇市
一般会計予算に
ついて

【総務部情報課関係】

説明 辺地共聴施設整備事業補助金は、地上デジタル放送移行に伴い国が補助するもので、補助率は既に存在している施設を整備する場合は2分の1、デジタル化により発生する新たな難視聴地域に受診施設を設置する場合は3分の2の補助率

になります。

問 補助残は利用者が負担するのか。

答 NHKが1戸当たり10万円を限度として助成します。さらに阿蘇市独自で1戸当たりの負担が1万円を超える場合は、超える分を阿蘇市が助成することになりますので、利用者の負担は1万円以内になります。

【総務部財政課関係】

問 情報課が整備を進めている光ネットワークは、年間8千万円程度の運営費をインターネットの収益で賄うようであるが、財政課として市の負担をどのように考えているのか。

答 端末の設置や光ファイバーケーブルの延長等については、市が負担するのは当然だと思えます。また、防

災行政無線については、現在、維持管理費に年間1千万円以上を要していることから、同機能を光ネットワークで運用する場合、相応の負担は必要だと思えます。市の負担については、担当課と協議する必要があります。

意見 インターネット

の収益だけで運営していくのは非常に厳しいので、行政に関する部分の運営費は行政で負担していただきたい。

【総務部総務課関係】

問 光ネットワークに防災行政無線を取り込む場合、屋内子局は光ネットワークの端末でできるが、屋外拡声子局はどのようにするのか。

答 光ネットワークでは、屋内子局に代わるものとしてIP告

知端末の設置を予定しています。屋外拡声子局は国の予算が減額されたことから、光ネットワークとの接続ができません。当面はIP告知端末と屋外拡声子局の2系統での放送を予定しており、将来的には一本化を考慮しています。

【市民部税務課関係】

問 波野にある広域林道部分の地籍調査は、22年度から実施しないのか。

答 23年度から調査を行う予定です。22年度はこの調査が補助事業であることから、事業費の確保のため県と協議を行うことになっています。

【総務部企画振興課関係】

問 田園空間博物館費にNPO法人への委託料が計上されていない。特産品展示による手数料で道の駅を含めた施設の管理運営や田園空間博物館事業の経費を賄わせるのは無

理ではないか。

答 手数料は6千万円を超える見込みなので、十分に賄えると思えます。

問 夢の湯と波野保健福祉センターにヒートポンプを導入する計画があったと思うが、今回予算が計上されていないのはどうしてか。

答 ヒートポンプを導入しても大丈夫なのか調査しましたが、問

題はないとの感触を得ています。導入にあたっては、NEDOの補助事業で実施させていただきたいと思っております。今月、NEDOに対し補助金申請を行う予定です。総事業費は1億3千万円程度を見込んでおり、関係予算については補助金交付決定後の6月または遅くとも9月には計上する予定です。



インターネットサービスを提供している阿蘇テレワークセンター内部風景

文教厚生常任委員会報告



報誌等で宣伝してきましたが、市民への周知方法を考えていきます。

平成22年度阿蘇市一般会計予算について

【教育部教育課関係】

阿蘇市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 皮膚科の先生に毎週月曜日の午前中、場合によってはその日の患者の診察が終わるまで診ていただくとのことだが、診療科目や受入れ体制が市民に対して十分に周知されていない。事業環境の変化をその都度、周知する方法を考えてもらいたい。

答 これまで市の広

体育館は発掘を終了したので、報告書作成を22年度に行う予定です。また、幹線道路整備で一部が埋蔵文化財包蔵地に当たることから、その都度試掘をする事になります。

【市民部市民環境課関係】

問 緊急雇用創出基金事業で学校給食の配膳係を募集するとのことだが、この募集はど

かが行うのか。また、資格を必要とするのか。
答 市が直接雇うのでハローワークに募集し、採用します。調理師等の資格を持つていれば幸いですが、ハローワークには無資格で公募しています。

問 世界文化遺産を阿蘇市が取り組んでいるが、遺跡発掘はいつまで続けなければならぬのか。

答 発掘は建物等を造る時に行うことになります。阿蘇西小学校

圧縮できるように努めてまいります。

平成22年度阿蘇市後期高齢者医療事業特別会計予算について

問 後期高齢者の今年度の該当者は5千200人ということだが、ここ数年、人数は増えているのか。

答 75歳以上の被保険者が年々増える傾向にあり、一人当たりの医療費は平成16年度では90万円を下回っていましたが、現在では100万円を超えています。

問 合併時と比較して、一人当たり10万円も医療費が増えている原因は何か。

答 本市は人口に対して医療機関が充実しており、そのことが医療費を上昇させる一つの要因です。

平成22年度阿蘇市国民健康保険阿蘇中央病院事業会計予算について

問 中央病院の職員

が11名ほど退職することだが、新規採用者が6名であることから、看護業務に支障をきたさないのか。

答 昨年、共同試験で8名を募集しましたが、応募者が6名であり、試験の結果、6名全員を採用することになりました。看護師の確保について苦慮しており、募集活動に取り組んでいるところです。

問 一般会計からの繰入金が増え、2千600万円ほど増え、外来収益が1千500万円減っている。企業

会計の建て直しを図ることが重要ではないか。

答 体制作り・組織作りの狭間にあり、組織強化を含めて方向性を出していきます。

問 早く新しい病院の場所を選定し、新築

計画を進めなければ民間病院とのすみ分けが難しくなるのでは。

答 早期に場所を決定し、次の段階に移らなければならぬと思います。基本構想については大体でき上がっていますが、熊本大学との連携も構想に入りたいので、もう少し時間をかけたいと思います。22年度に場所を決め、基本設計を行い、23年度に実施設計、24年度に工事着工ができるように進めていきたいと思っております。



建替検討中の阿蘇中央病院